



アカナ FAQ資料

Q: アカナはエトキシンを含んでいますか？

A: いいえ。アカナの魚原材料は新鮮なままの状態(無冷凍・保存料不使用)で工場に搬送されます。アカナが使用している魚粉は魚粉製造業者と直接取引を行い、他社ペットフードでよく使われるエトキシ保存料ではなくビタミンE、クエン酸、ローズマリーエキスで天然保存されるようにしています。

Q: アカナはメラミンが原因とされるペットフードのリコール事件と関係ありますか？

A: いいえ。アカナは植物性たんぱく質(小麦、米、トウモロコシグルテン)を使用していません。また、アカナに使用されている肉原材料はすべて地元産の新鮮なものです。アカナのたんぱく質原材料はすべてカナダ国内で生産され、カナダ食品検査庁(CFIA)の基準に適合しています。

Q: 何故アカナの粒の色と形はたまに違うのですか？

A: アカナは地元産の新鮮原材料を小さな釜を使って調理製造している、ナチュラルなペットフードです。このような小さな専門店的製造方法を取っていることから、アカナの粒のサイズ、色、形には少しバラつきが出ることがあります。

町のパン屋を想像してみてください。町のパン屋では買う都度にパンの味は同じでも形が少し変わっていることがあります。一方、ウォルマートなど大型チェーンスーパーで販売している袋入りパンは、いつ買っても同じ形です。アカナは町のパン屋のパンと同じなのです。

Q: 何故アカナは植物を含有しているのですか？

A: アカナはドライペットフードとして出来る限り、野生の犬と猫が食べる自然な食事を再現するよう成分構成されています。植物は犬と猫の自然な食事に含まれ、健康促進に重要な役割を果たします。アカナが使用している植物は北米の第一線で活躍しているホメオパシー獣医によって厳選されています。

Q: アカナには昆布が含まれていますが、ヨウ素をたくさん含有しているということですか？

A: いいえ。アカナは 4.0 mg/kg から 6.0 mg/kg の昆布ヨウ素を含有しています。この数値は AAFCO が制定しているヨウ素の最低含有率に近いものです。アカナが使用している昆布には 64 のミネラルが生物学的に利用可能な有機形態(オーガニック)で含有されています。

Q: アカナが使用している肉は人間用食材ですか？

A: はい。アカナが使用している肉原材料(鶏肉、魚、七面鳥、卵)はすべて人間用食材です。鶏肉ミール、魚ミール、七面鳥ミールは、副産物や抗生物質などは一切使用せず、カナダの各協会やカナダ食品検査庁(CFIA)に人間用食材として認定を受けた肉のみを使用して製造されています。

Q: 原材料の「新鮮(fresh)」と「生(Raw)」ではどう違うのですか？

A: 「生(RAW)」とは加工前の未調理の状態、冷凍か科学保存料(あるいはその両方)を用いて保存されていることを意味します。

「新鮮(fresh)」とは無冷凍で保存料も使用されていないことを意味します。他社ペットフードと違い、アカナは地元産の新鮮肉が搬送されたその日のうちに加工することにより、ペットの食欲を増進させる風味の良さを実現しています。

Q: アカナに含まれるタウリンの原材料は何ですか？

A: アカナのキャットフードは保証成分としてタウリンを記載していますが、原材料には記載していません。これは、アカナが肉(タウリンを自然に含む)を豊富に使用しているため、タウリンをサプリメントとして余分に追加する必要がないからです。他社ペットフードの多くは十分なタウリンを自然なかたち(肉)で含有していないため、タウリン原材料を足さなくてはならないのです。

Q: 鶏肉の生産地はどこですか？

A: アルバータの鶏肉生産業者のもと、穀類で飼育されたアルバータ鶏肉です。人間用食材で、新鮮なままの状態(無冷凍・保存料不使用)で工場に搬送され、その日のうちにアカナ製品として加工されます。アカナの鶏肉ミールと脂肪はアルバータの人間用食材鶏肉を原材料としています。

Q: 卵の生産地はどこですか？

A: アルバータの卵生産業者からの卵を使用しています。人間用食材で、新鮮なままの状態(無冷凍・保存料不使用)で工場に搬送され、その日のうちにアカナ製品として加工されます。

Q: アカナの新鮮魚の産地はどこですか？

A: アカナの新鮮魚はすべてアルバータ、サスカチュワン、ウィニペグ、またノースウェスト準州の公害のない北部湖で天然捕獲されています。

Q: アカナの魚は重金属テストを受けていますか？

A: はい。アカナの魚は公害のない北部湖で捕獲されていますが、我々が契約している魚供給業者では重金属と水銀のテストを行い、そのテスト結果を提出してもらっています。アカナの魚はすべて人間用食材でカナダ政府の1日消費食品規定に適合しています。また、長鎖オメガ3脂肪酸含有量の高さは世界的に見てもトップクラスです。

Q: アカナの新鮮魚は天然捕獲ですか、それとも養殖ですか？

A: アカナ使用している魚はすべてカナダの北部湖か太平洋で天然捕獲されています。

アカナの魚はカナダの淡水魚産業法人が支持している持続的管理捕獲法を用いて天然捕獲されています。

Q: ポテトは健康にいいですか？

A: 現在、ポテトは加工ペットフードの穀類の健康的な代用品として使用されています。アカナのポテトは低温加工(90)され、皮と葉は含まれません。

Q: アカナはビタミン K3(メナジオン)を含有していますか？

A: すべてのチャンピオンペットフーズ社製品はビタミン K3 を含有していません。

チャンピオンペットフーズ社についての質問

Q: チャンピオンペットフーズ社はアカナ製品の製造を外注していますか？

A: いいえ。すべてのアカナ製品はカナダ、アルバータ州のモリンヴィルにある自社工場でのみ製造されています。

Q: チャンピオンペットフーズ社はアカナ製品を自社工場で製造していますか？

A: はい。チャンピオンペットフーズ社はアルバータ州のモリンヴィルに世界最高水準の設備を備えた自社工場を所有しており、そこでアカナ製品を製造しています。

Q: ペットフードの多くはメーカーが所有も管理もしていない工場で製造されていますが、アカナはどうですか？

A: アカナは自社工場でのみ製造され、自社工場以外での製造・袋詰めはまったく行われていません。

Q: チャンピオンペットフーズ社はペットフードを作り始めて何年経ちますか？

A: 1975 年以来ですので四半世紀以上です。

Q: 多国籍ペットフードメーカーとチャンピオンペットフーズ社はどう違うのですか？

A: チャンピオンペットフーズ社は家族経営のペットフード専門の製造会社です。「地元産新鮮原材料を使った世界最高級のペットフード作り」というはっきりした信念を持ってペットフード作りを行っています。

健康についての質問

Q: アカナは泌尿器の健康を促進しますか？

A: はい。アカナは肉原材料を多く含みマグネシウムをあまり含まないため酸性で、それが健康的な膀胱を促進することになります。

Q: アカナは肥満の猫や犬に適していますか？

A: はい。アカナはたんぱく質由来のエネルギーを多く、炭水化物由来のエネルギーを少なくという生物学的に適正なエネルギー配分となっています。

炭水化物は犬と猫の体内で殆ど何の機能も果たさず、血中でブドウ糖に素早く変わる糖分をエネルギーとして供給するのみです。炭水化物含有量が多すぎると(他社ペットフードではありがちですが)、すぐに体内脂肪となります。

たんぱく質は炭水化物と同量のエネルギーを供給しますが、炭水化物とはまったく違う性質を持っています。炭水化物と違い、たんぱく質は生命にとって必須の栄養素です。また、たんぱく質含有量が多すぎても体内脂肪として貯蓄されることはなく、自然に体外排出されます。

Q: たんぱく質含有量が多いことで犬と猫が太りすぎになることはありませんか？

A: いいえ。太りすぎになるどころか、アカナにはまったく逆の効果があります。アカナは高たんぱくですので、与え始めて約 1 ヶ月で犬と猫に引き締まった筋肉がつかます。また、低炭水化物ですので殆どの犬と猫が体脂肪を減らします。

Q: 高たんぱく食は腎臓に負担になりませんか？

A: いいえ。高たんぱく食が犬と猫の腎臓に悪影響を与えるという科学的研究結果はまったく存在しません。実際は、腎臓機能が低下している、あるいは腎臓を 1 つしか持っていない犬に高たんぱく食を与えると健康状態が改善されたという科学的研究結果が出ています。

Q: アカナは大型犬子犬や成犬に適していますか？

A: はい。大型犬子犬と成犬の食事でも最も留意すべき点は、カルシウムとエネルギーを適切な量含有することです。

カルシウム: 大型犬にとっての理想的なカルシウム含有量は原材料中 1.0 から 1.4%とされています。カルシウムが乾物中 3%を超えると重大な骨格異常を起す傾向があるとされています。また、大型犬用のペットフードを成分構成するとき、カルシウム吸収率を過大な状態まで上げる可能性があるビタミン(ビタミン D)にも注意が必要です。アカナはこのような点にも細心の注意を払ってカルシウムを含有しています。

エネルギー: 毎日の高カロリー食は犬の急激すぎる成長につながります。すると未熟な骨格が重い体重を支えることになり、それが骨格組織へのダメージとなり更にそれが関節の奇形や形成不全となります。

市販ペットフードのエネルギー源は 3 つあります。たんぱく質、脂肪、そして炭水化物です。アカナは適度な脂

肪、高たんぱく、そして最も重要な点として、炭水化物を殆ど含んでいません。

炭水化物は犬の体内で殆ど何の機能も果たしませんが、体内ですぐ簡単に糖分に変わるため太りすぎの主な原因となります。ペットフードの炭水化物含有量を押さえることが、大型犬も含めてあらゆる犬の健康にとって理想的です。

Q: 高たんぱくと大型犬の関節の健康については？

A: グレートデーンの成長についての研究(オランダ)で、たんぱく質含有量は骨格発達において何の影響も及ぼさないことが分りました。高たんぱく食が骨軟骨欠損やホジキン病のリスクを高めることはなく、骨の縦成長にも何ら影響しません。加えて、整形外科的な問題を引き起こすのはたんぱく質ではなく、他の栄養素であることも分っています。

高たんぱく食は関節に悪影響を与えません。しかし、犬に食事を与えすぎることが関節炎や整形外科的な問題の原因となることがあります。関節や整形外科的な問題の殆どは遺伝ですが、加えて子犬や成犬が肥満の場合痛みや不快感が増し、更に若いときには整形外科的な障害の発症、年を取るにつれて関節炎になる可能性が高くなります。

太りすぎ解消のために肉とたんぱく質よりも繊維を多く与えるように言う栄養士もいますが、それによって栄養の吸収が悪くなり、他の健康問題を引き起こす可能性もあります。